

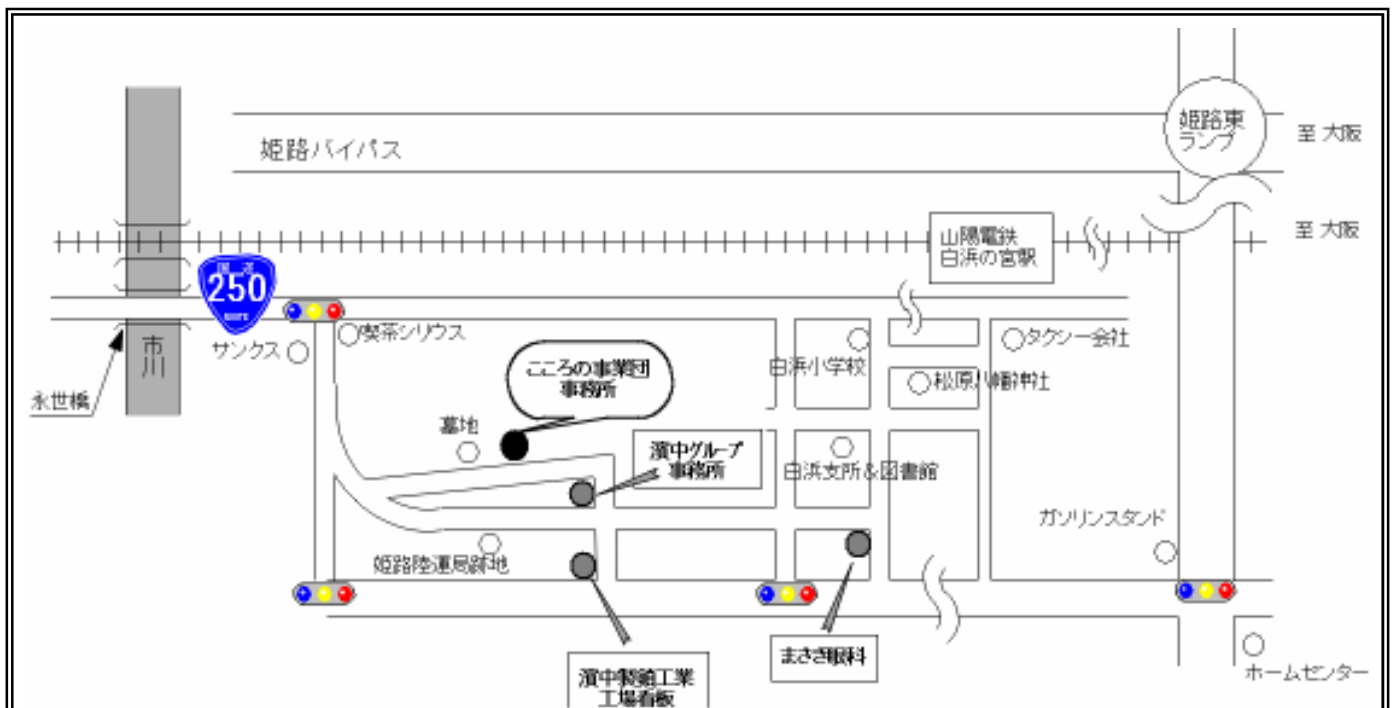
結・ゆい・メイト

～第7号～

姫路こころの事業団は、引きこもり問題を大切に一人では解決不可能とあきらめていた諸問題を
関心のある方と知恵を出し合い、助け合いながら今という時を共に前向きに生きようとする会です。
お一人でも多くのお力添えをお願いします。



悲しいとき・苦しいとき、一人で悩んでいないで、話してみませんか? 同じ体験をしたもの
同士話し合うことで糸口が見つかるかもしれ
ません。



シンポジウム時「基調講演」の要旨レポート

12月12日(日): 市民会館にて
「姫路こころの事業団/サポートセンターKOAH主催」

基調講演「ひきこもるといふ名の情熱」 講師: 芹沢俊介氏

講師は「芹沢俊介氏」。同氏の子供が“ひきこもり”に罹り 如何にして治っていったか・・・

その、愛情溢れる対応・成功体験談だ。同氏は著作・講演等と活躍されている。



同氏、今でこそ人前で喋っているが元来は内気だった由。子供が「登校拒否」に陥る。当初家族の意見に従って無理に登校を続けさせたが・・・このままでは治らないと判断。そこで「学校に無理に・行かなくてもいい・辞めれば」と子供の立場に立って考え諭す。

その後、いろいろとあったが約6ヶ月ほどで何とか治癒したという。

好転の兆しが見えたとき、子供が「コンビニ」に勤めたいと言いだした。同氏は子供に対して、履歴書には「病状を隠すのではなく正直に提示する事」だと子供に示唆。

“嘘・隠し事”は、それ自体がストレスの要因となる。正直であれば、気が楽になる。

すると、はからずも“採用”となった。コンビニ店長曰く「正直な若者との印象を受けた」という。これをきっかけにして社会に参画・治癒に向かっていった・・・という。

“ひきこもり”の捉え方: **名詞的**→**動詞的**との見方。 **固定的**→**流動的**とみる。 **状態像**であるとの捉え方。

回復過程には**往路**→**潜在期**←**帰路** があるのだが、一直線に好転に向かうのでは無く・ジグザグを繰り返す。この時期に親が意見等を言うと「本人の治癒しようとする力が奪われてしまい」振り出しに戻ってしまう。

この時点での親の“力量”が問われる。即ち、親が力量を示して“腹を括り”→ 子供に任せてみる。この任せる(待つ)期間は、親が決めるのではなく・・・本人(当事者)が決める事なのだ。

即ち、同氏は「子供はそのままが良い・親が変わる事だ」と説いている。

その、こころの病の状況を表し・感銘を受けた米映画(1998)として「モンタナの風に抱かれて: ロバートR主演」を紹介していた。

ストーリー: 乗馬中の事故により、体と心に深い傷を負った少女。愛馬も事故のショックから凶暴な暴れ馬となってしまう。馬の薬殺をすすめられたが・・・母親は「娘の未来が馬の運命と深く結びついている事を悟った」。そこで馬を癒す能力を持つ伝説的な“人物”の元を訪れる・・・

この折に、その“人物”は、馬が回復に向かう(要する)期間は、「人間が決めるのではなく馬が決めることだ!」と言った。この言葉に、芹沢氏は感銘を受けたという。

つまり、前述の、「子供に任せてみる」→ ひきこもりが治る期間は、「親が決めるものではなく、当事者(本人)が決める事なのだ!」と同じ事なのだという。



自己間関係: 治癒の途中での最後の難関・・・ひきこもり当事者(本人)は自分との葛藤、つまり敵は自分自身なのだ。

親は「本人の力を信じて支える事」だという。

友達間の変化: 本来の友達とは“安心”のできる間柄だった。・・・が、最近では“安心”から“配慮”の対象に変化していると指摘。

フリーターについて: 世間では否定的だが、同氏は寧ろ、ひきこもりの当事者にとっては好ましい事だと主張。

NEETについて: これは同氏の考えでは“状態像”に過ぎないという。“善”“悪”の2分法、即ち、帰属している(善)か、否か(悪)・社会的に何かをしている(善)か、否か(悪)等で単純に判断してしまう。こういった考え方/判断は問題だと主張していた。

姫路こころの事業団 TEL:0792-47-0250 FAX:0792-47-0255 E-mail:himeji_ki@cc.wakwak.com
以上が「基調講演」の要旨。その後「シンポジウム」に移る。最後に、再度「芹沢氏」による「質疑応答」があり終了。

◆シンポジウム “「ひきこもる」という名の情熱”

日 時：2004年12月12日（日） 13：30～16：30 （受付13：00～）

場 所：姫路市民会館3階中ホール

参加者のアンケートから

- ひきこもりを「社会参加のかたち」として肯定することが大事。視点を広く持ちたい。
- 社会が一方向的にひきこもりを悪として決めつける傾向を正していかなければならないと思う。
- 最大の敵は本人自身であり、その苦しみは、見守っている家族以上のものがある。状況をしっかりみてサポートしていくことが大切。
- 本人を信じて、その気持ちに任せたいと思う。のんびりとした気持ちを忘れず、待つ努力をしたい。
- 往路・滞在期・帰路という考え方は抜け出ることのないトンネルに入り込んだような今の気持ちに希望を与えてくれた。

自分の根本的なことを問い直していかなければ、ということに気づかされた。

◆ 第7回 語り合いませんか

講 師：山本心理療法室 室長 山本 正美 氏

日 時：2005年1月15日（土）13：30～16：00 （受付13：00～）

場 所：姫路市民会館4階 第六会議室

内 容：心と体のつながりについて考えてみましょう。

「こころとからだのセルフコントロール」と題してたっぷり2時間掛けて講演をしていただきました。「ストレスについて」正しい理解と自分の気づきについてとても分かりやすく説明してくださいました。また休憩を挟んで、自律訓練法を実際に先生のご指導の下、体験しました。チェック表を使って自分のストレス度のチェックをしました。

感想

心の事業団の研修会には何度か参加させていただいていますが、この度の講演はとてもリラックスできました。先生の声のトーンとペースに数分間でしたが、うとうとしてしまったように思います。

起こってしまった過去は消せないし、不快だと感じる事実は避けられないからその事実に対する受け止め方を変えればいいということは何度か聞いたことはありましたが、改めて再確認させられたように思います。いつも「こうでなければ」という概念が自分自身をイライラさせてしまうのを枠を取ってみようと思いつつ、なかなかできずに悩みます。

“幸せになれる人は、気分転換が上手くできる人”まさにその通りで、すぐにはできなくても心に思っていることが大事かな～と思いました。(H)

☆ 注意!!

2月から事務所開設日が変更になりました。 お間違いなく!!!

毎週 月・水・金 午後1時から5時までです。

月曜日は、会員の家族相談をお受けします。

一般の方は随時お伺いいたします。どちらも予約をいただけたら幸いです。

☆ クリスマス会&忘年会

日 時：2004年12月19日（日）17：30～20：00

場 所：姫路こころの事業団事務所

総勢 13名参加 一品持ちよりのため思いがけない手料理にありつき楽しい会になりました。

お父さんからのアドバイスや若者に色々と質問してわが子の状況を理解しようとして活発な交流会になったと思います。次回は楽しみです。どなたか、楽しい会をのご提案をよろしく!!

ふくろうの会より

☆ 1月の月例会

ふくろうの会、活動が始まりました。居場所にもたくさんの方がこられています。

同じ悩みを持つ親同士、話し合いそれぞれに、親としてどう子どもに向き合えばいいのか？

母親も私たちからまず、行動してみませんか？

母親の会をどう進めていけばいいのか、ご提案、ご協力よろしくお願ひします。

☆ 1月19日（水）定例会

参加者 2名、スタッフ2名

次回の定例会のスケジュールと「ふくろうの会」の運営について。

☆ 1月23日（日）定例会

参加者10家族11名の参加がありました。

1、役員選出 会長・書記・役員 2名 選出されました。

2、会員名簿作成について。

1) 名簿は当日参加者の中で希望者を聞き、その方たちだけの名簿を作り(8名)その方達だけに配布する

2) 連絡事項は役員が分担して連絡させていただくことになりました。

3、ふくろうの会参加費について。

会合時に必要なお茶代、コピー代として参加費を集める。

出席者から一回につき300円集めることになりました。

見学者(会員外)は、一回500円です。

4、毎月第3月曜日 10時から16時(午前のみ、午後のみ、終日、OK)

第4日曜日 午後1時から4時までです。

毎回テーマに沿って話しませんか。「テーマ」を募集します。例「会話がなない」「昼夜逆転」「威圧感」等

姫路こころの事業団のお知らせ

- ◆ 和歌山県田辺市より保健師目良 宣子氏「田辺市におけるひきこもりネットワーク」
講演会が姫路市保健所主催、姫路こころの事業団共催で開催されます。

日 時：2005年3月12日（土） 13：30～16：30 （受付13：00～）

場 所：姫路市保健所5階ホール

参加費：無料

問い合わせ先：姫路市保健所 TEL：0792-89-1635

姫路こころの事業団 TEL:0792-47-0250 FAX:0792-47-0255

E-mail:himeji_kj@cc.wakwak.com

- ◆ 事務所オープン日（毎週月・水・金のA.M11：00～P.M5：00）

月曜日がオープン日になりました。お間違えないよう!!

- ◆ モデラートオープン日(P.M13：00～P.M17：00)

若者の集まりとしていますが、年齢制限はありませんので、気軽に遊びにきてください。

オープン日：2月9日、18日 3月9日、18日

- ◆ ふくろうの会オープン日(P.M13：00～P.M16：00)

母の会をしています。同じ悩みを持つ親同士、愚痴を言ったり、楽しいおしゃべりをしましょう。

オープン日：2月21日(月)、27日(日) 3月21日(月)、2月27日(日)

- ◆ 服部英男さんの卓球教室、本の読書交流会

毎週木曜日 18時30分～

- ◆ じゃがいもの種芋の植え付け

2月19日（土）a.m.10：00から11：00

外部のお知らせ

- ◆ 第2回市民研修会 ～『「うつ」ってなあに?』～

講 師：藤原 豊氏（高岡病院副院長）

日 時：2005年3月5日（土）13：30～ （受付13：00～）

場 所：姫路市男女共同参画センター(イーグレひめじ) 3階 あいめっせホール

参加費：無料

問い合わせ先：姫路市保健所 TEL：0792-89-1635

- ◆ 第43回 兵庫県精神保健福祉大会

日 時：2005年2月10日(木)14：00～16：00

場 所：兵庫県こころのセンター 3階大研修室

講 演：「ひきこもる」という情熱 家族関係を考える

講 師：評論家 芹沢 俊介 氏

問い合わせ先：兵庫県立精神保健福祉センター内 電話 078(252)4980

お願い

・家族会員・通信会員・賛助会員の募集をしています。

・ボランティア・支援者の募集をしています。

どんどん事務所にお問い合わせ、見学、遊びに来てください。

姫路こころの事業団 TEL:0792-47-0250

FAX:0792-47-0255

E-mail:himeji_kj@cc.wakwak.com

スケジュール

2月

日	月	火	水	木	金	土
	事務所オープン	1	2 事務所オープン	3	4 事務所オープン	5
6	7 事務所オープン	8	9 事務所オープン モデラート	10	11	12
13	14 事務所オープン	15	16 事務所オープン	17	18 事務所オープン モデラート	19
20	21 事務所オープン ふくろうの会	22	23 事務所オープン	24	25 事務所オープン	26
27 ふくろうの会	28 事務所オープン					

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 事務所オープン	3	4 事務所オープ	5
6	7 事務所オープン	8	9 事務所オープン モデラート	10	11 事務所オープン	12 特別講演会「先進地区に学ぶ」 目良保健師
13	14 事務所オープン	15	16 事務所オープン	17	18 事務所オープン モデラート	19
20	21 事務所オープン ふくろうの会	22	23 事務所オープン	24	25 事務所オープン	26
27 ふくろうの会	28 事務所オープン	29	30 事務所オープン	31		

